

[2番 田代寛子さん登壇]

○2番(田代寛子さん) 私の訴えは、市民会館の再建です。

まずは、現状から説明していきたいと思います。

私が通う島田高校では、文化祭1日目の会館公演、演劇教室、吹奏楽部の定期演奏会で島田市民会館を利用してきました。しかし、今年から会館が使えなくなったため、文化祭は体育館での公演、演劇教室と定期演奏会は2回に分けての公演になりました。そこでさまざまな問題が生じました。

体育館のステージの拡張や必要な備品をそろえる際に、会館を借りる以上の費用がかかってしまいました。照明や音響設備、空調設備も市民会館のものほど良くないため、例年に比べ劣った文化祭になってしまいました。本来、会館公演は文化部の皆さんが保護者や地域の方々に日ごろの成果を披露するための会館公演です。しかし、体育館は狭いため、保護者の皆さんや地域の方々を御招待することも不可能になりました。ここに挙げた以外にもさまざまな問題点がありました。

私は文化祭を計画し運営する立場であったため、島田市民会館が使えないことに一般生徒以上に不便を感じました。これは島田高校の文化祭だけに言えることではなく、ほかの市内の高校や、今まで市民会館を使っていた団体の皆さんにも言えることだと思います。

以上のことを踏まえ、島田市には市民会館という大型施設が必要だと思います。

次に、私からの提案を述べたいと思います。

島田市民会館を再建する際、学生のための自習ブース、地域の方のための交流ブース、子供のための遊び場、地域の特産物を売る商業ブースなどを兼ね備えた複合施設としての再建を提案します。

交流の場は歩歩路、学習の場や子供の遊び場はおび・りあにもあります。しかし、歩歩路の交流スペースは少し規模が小さいと思います。おび・りあの学習スペースは図書館内にあるため、私語

厳禁でグループ学習には不適切です。おび・りあの子供の遊び場は有料なので気軽に遊べる場ではないと思います。

地域の方々が気軽に使える交流ブース、学習ブース、遊び場ができればいいなと思っています。また、そのような大型施設ができることにより、島田市の経済相乗効果や文化の発展にもつながると思います。大型施設を建設するためには、膨大な金額がかかることはわかっています。しかし、次世代を生きる私たちが借金を負ってでも、島田市のシンボルとなる大型施設を再建する価値はあると思います。是非、島田市民会館再建の御検討をお願いします。

私の質問を述べます。

1の(1)島田市民や市内の高校に通う学生が行った島田市民会館再建の署名が市長のもとに届いたと思いますが、私たちの思いをどのように受け取っていただけましたか。

(2)島田市民会館の今までの使用状況を教えてください。

(3)私の提案である1,000人以上収容可能な大ホールを持つ複合施設としての再建をどう思いますか。

(4)島田高校を例に挙げさせていただきますが、学校の体育館で文化祭を行った場合、先ほど説明したような問題が生じました。そのような場合、市のほうで今まで会館を使っていたときの使用代金と学校で行った際、レンタルした設備代金の差額を援助していただけますか。

以上で、壇上での質問を終わります。

[2番 田代寛子さん発言席へ移動]

○副議長(曾根嘉明議員) 染谷市長。

[市長 染谷絹代登壇]

○市長(染谷絹代) 皆さん、おはようございます。

それでは、田代寛子さんの1の(1)の御質問についてお答えをいたします。

市民会館再建に対する1万7,675人の方から寄

せられた署名は、島田市の文化振興を支えていただいている皆様を初め、多くの市民の皆様の声として重く受け止めさせていただきました。特に田代さんと同じ高校生であります島田商業高校吹奏楽部の皆さんの署名には、一人一人のメッセージも加えられておりました。

それらを拝見する中で、また、本日の田代さんの御意見をお聞きし、島田市のこれからを支えていく若い人たちを代表する貴重な御意見として一層強く、深く受けとめさせていただきました。

次に、1の(2)の御質問についてお答えをいたします。

市民会館は、各学校の文化発表会や各種大会、音楽や演劇の鑑賞会など、幅広いジャンルで大勢の方々の集客を必要とする場合において利用されてまいりました。最近3年間にホールが利用された日数は、リハーサルも含め平成23年度が75日、平成24年度は73日、平成25年度は9月までの半年間で28日となっております。

次に、1の(3)の御質問についてお答えをいたします。

将来、市民会館の再建を考えていく上では、文化施設の複合化など大変ユニークであり、貴重な御意見であると思います。市民会館の再建は、文化振興の観点から見ますと設備の整った文化施設は必要であると思います。

一方で、将来にわたる施設の維持管理費、そういったお金の観点など、市全体の中で考えていきますと、現在ある施設の統廃合や再建は、将来、島田市に住む皆さんが安定した生活を送っていく上で重要な課題になると考えております。

このようなことから、他の市町との広域的利用や新築や改築の時期等も含めて、市内施設の見直しを進めていく必要があります。特に日常医療や災害時に必要不可欠な病院整備や教育の一層の充実を図るため老朽化した学校校舎の整備は最重要課題であると捉えています。現在、これらの整備

方針をとりまとめる公共施設マネジメントを作成していますので、市民会館についてもこの中で協議、検討していきたいと考えています。

次に、1の(4)の御質問についてお答えをいたします。

市民会館の休館後、集客やステージの広さの関係等により市外の公共ホールを利用することにより経費の負担増になった団体も多いことから、市では現在、公共ホール使用料等差額助成制度を新たに作り、使用料助成をしていきたいと考えています。

これは市民会館において過去5年間、継続的に行われてきた催し物を市外の公共ホールで実施した場合、やむを得ない事情で市内のプラザおおり、金谷生きがいセンター、川根文化センターで2日間の公演を行う必要があった場合において、市民会館利用料相当額との差額を助成するというものです。この助成制度は、助成対象施設が公共ホールに限られております。

田代さんのお示しくださった文化祭等学校施設での開催についても検討いたしましたが、他校での開催状況を勘案し、学校施設での実施は対象とはなっておりません。学校施設では市民会館のような舞台演出効果は難しいと思いますし、近い環境をつくり出すには多額の経費がかかってしまい、開催に当たっては大変な状況であるということは承知をいたしております。

しかしながら、このような課題をみんなで考え、みんなで協力し合いながら解決し、学校の体育館等で文化祭を開催していくことは市民会館での開催にはかえがたい体験を得るものであると思います。このような体験を貴重な学校生活での青春の1ページとして島田高校の六月祭が今後新たな形で実施され、歴史をつくり上げていくことを強く望みます。

以上、御答弁を申し上げます。

なお、再質問につきましては担当部長から答え

させる場合がありますので、御了解ください。ありがとうございます。

○副議長（曾根嘉明議員） 田代さん。

○2番（田代寛子さん） ありがとうございます。今、市長は公共施設のみ差額を援助していただけたということでしたが、仮にローズアリーナにステージをつくり実施した場合などはどのようになりますか。

○副議長（曾根嘉明議員） 金原教育部長。

○教育部長（金原雅之） ただいま田代さんの質問は、ローズアリーナを島高の六月祭に使った場合ということですが、ローズアリーナは今年の成人式で使った経緯があります。市民会館の音響設備、照明設備、そして空調設備を島高の体育館あるいはローズアリーナに求めるということは、非常に大きな金額がかかってまいります。今年の成人式では、使用料以外に大体200万円ぐらいかかっています。

その内訳といたしましては、田代さんが先ほど言われました舞台、高校の体育館の舞台を少し拡張したということがありましたけれども、ローズアリーナにはそうした舞台がありませんので、仮設のステージをつくりました。それは学校の体育館のような大きなステージでなくて、もう少しコンパクトなステージであります。さらに、体育館といいますと床が命ですので、床を養生するためにシートを敷きました。そして、その上に1,000脚程度の椅子を並べましたけれども、そうしたことで概ね200万円ぐらいかかっております。

田代さんが言われるような舞台効果を高めるための設備と言いますと、例えば暗幕を設置したりとか、大きなステージをつくったりとか、椅子は変わらないと思うのですが、さらに大きな金額がかかってしまいますので、島高の体育館でやった時よりももっと大きな金額となってしまうことが想定されます。そういったことから、ローズアリーナを視野に入れるというのは現実的では

ないのでないかと考えております。

○副議長（曾根嘉明議員） 田代さん。

○2番（田代寛子さん） 以上で質問を終わりたいと思います。ありがとうございました。